



センスオブアース今回の活動報告◎環境教育出前授業2月22日(金):板橋区立志村第四小

## 環境教育プログラム～6年生だよ！ 志村第四小での食農教育・トーフ作りの実践

文：明治大学情報コミュニケーション学部4年 高橋雅俊(SOE学生スタッフ)

2月22日金曜日冬の寒いのに春の兆しを感じられた暖かい日に環境教育の出前授業を行ないました。今回は12月に行なった板橋第七小学校での豆腐作り食農教育に引き続き、豆腐作り授業の第2回目として、緑いっぴいの志村第四小に行ってきました！

志村第四小学校は昨年6月にヤゴ救出大作戦を3年生に行なった学校です。校長先生は、ビオトープを作ったり、子どもの森を作ったり、野菜を育てたりと環境教育に大変熱心なあたたかい先生です。私もヤゴの授業後3ヶ月ほどボランティアをこの学校で行い、子ども達にふれあい楽しく過ごしてきました。ヤゴの授業をした3年生たちは授業後ヤゴに興味関心をもったらしく、大事にヤゴを育て、授業を終えて2週間位して私に「ヤゴがトンボになったよ」とうれしそうに報告してくれて、授業の手ごたえを実感しました。

今回授業を行なったのはなんと6年生で、あと1ヶ月もしたら卒業をしてしまうという大変忙しくもあり、卒業を惜しんでさみしくもなる時期です。6年生ということもあり、前回より静かに授業を行なうことができました。この日のための準備として、前回の反省点を上げ、作戦を練り授業がスムーズに展開できるよう構成を考え直しました。



高橋雅俊君。  
企画から本番までリーダーとして大活躍。



今回の出前授業は、大学生9名、センスオブアース3名で行いました。



授業は3,4校時を使って6年生64名合同の授業を家庭科室で行ないました。

簡単に授業の流れを説明すると、スタッフの挨拶から始まり、授業の目当て、大豆の成長と大豆食品への変化の説明をした後、豆腐の作り方を簡単に紹介し、64名を8つの班に分け豆腐を作ります。豆腐が出来上がったら、班対抗豆腐クイズ大会をして、出来上がっ

さすが6年生。授業開始には、準備完了。

さすが6年生。大学生スタッフの計画通りにトーフづくりができました。



た豆腐をあらかじめ授業前にスタッフが作っておいたとん汁に入れ、班の仲間と楽しく食べ、後片付けをして終わりました。本番では、大豆の成長の説明や豆腐の作り方の説明をパソコンでのスライドで見せることで時間を短縮し、子ども達に分かりやすく伝えることが出来ました。そして授業のメインでもある豆腐作りも子ども達の率先したリードもあり、班によって作業時間に差は出ましたが、見事全ての班が豆腐へと変身させることが出来ました。

豆腐クイズ大会は付け髷や大学帽子をかぶった大豆博士の格好をした浅井君のキャラが子ども達に大うけし、少し白熱し大変盛り上がりました。豆腐クイズの問題では豆腐の効能、フードマイレージの説明や大豆の自給率や食料自給率が下がっていることを



丁寧に説明することが出来ました。食料自給率については全ての班が40%と答えていたので、少し簡単だったのではないかと思います。子ども達は一問一問真剣に考えてくれたので手ごたえを感じることが出来たのではないのでしょうか。

また、担任の木川先生、古渡先生はお二人そろって、「子どもたちが本当に楽しそうに取り組んでいます!!」と語っておられました。坪野校長先生も、「難しい時期の子どもたちなのですが、よくやっていると思います。」「志村四小は小豆沢にあるので、小豆を作っています。おしることか、赤飯作りもしたいですね。」と語ってくださいました。

この授業を終え、自給率が下がっていること、食べ物を運ぶのにエネルギーがかかってくること（フードマイレージ）などその他多くのことに対して興味を持ち、自分で考え学び自分の食生活を見つめ、この授業を小学校最後の思い出のひとつとして心に刻んでくれたら、環境教育を行なった者として幸せなことだなぁと思っています。



授業を終えて、坪野校長先生と記念撮影。



# 目がかがやいているね Bio-top

## 全国学校Bio-topコンクール 2007 2月10日—すばらしい学校がずらり!!

国立オリンピック記念青少年総合センターに、SOE 学生スタッフと  
いってきました。800 名ほどの方が詰め掛けていました。やあ、すご  
い実践がならび、代表 10 校のどの学校が入賞してもいいという感じ  
でした。審査委員長は、当 NPO 法人センスオブアースの顧問、学芸  
大学名誉教授の佐島群巳先生でした。ここでは特に心引かれた実践を  
三つご紹介しましょう。

(財)日本生態系協会主催。隔年  
で開催されるコンクールで今年  
10 年目を迎えた。学校 Bio-top  
の優れた実践例を広く収集・紹  
介することで、学校 Bio-top  
がもつさまざまな価値を広め、  
環境教育の発展と、自然と共存  
する持続可能なくにづくりに貢  
献することを目的に開催。

**牛久市立神谷小学校**—茨城県の霞ヶ浦に程近い、周りを田んぼに囲まれた学校です。

この学校がすごいのは学校の周りの荒地に目を注いだことです。この荒地こそ、霞ヶ  
浦の水源地であり、以前は田んぼだったことがわかり、田んぼを再生して、付近の  
里山地とつなげて、市民の憩いの場にしようとして市長さんに働きかけたのです。市長  
さんも、この提案を受け入れ、学校・市民・お年より・行政・NPO などさまざまな方々  
との大きな連携で街づくりへと発展しています。この学校は、日本生態系協会会長  
賞を受賞しました。

**海陽町立穴喰中学校**—この学校は総合的な学習の時間中心に、学校 Bio-top を整備

し、さまざまな学習に活用しています。校内に三つの村を作りました。一つ目は科  
学村～生物が集まる Bio-top で自然観察や自然素材の活用を学んでいます。二つ  
目は、生産村～作業園<sup>園</sup>で米・野菜・花の栽培を学んでいます。三つ目は地域村～地  
域の人と人とのつながりに触れてかかわりを学んでいます。視点として、中学校周  
辺を学校園と捉え、たくさん体験活動を通して環境や人権の学習を進めています。  
この学校は、文部科学大臣賞を受賞しました。

**越谷市立大袋東小学校**—この学校は先日全国環境教育研究大会の会場校になった学校

です。SOE の友人で、第 1 回全国学校 Bio-top コンクールの最優秀校に選ばれたとき  
の指導者が再び別の学校で、実践を重ね発表しました。裏にクヌギの雑木林があり  
緑がどんどん増えたが、生き物が減ってきたわけを研究し、ある程度林の中は陽射  
しが必要と明るくしたそうです。すると虫も増え野鳥の飛来が増えたそうです。私  
が見学したところ、森の中は野外学習用ベンチや巣箱があり、めだかのいる小川も  
流れ生き物が棲める環境を子どもたちで作り出していました。この学校は、環境大  
臣賞を受賞しました。

## ◎ S.O.E. 活動報告 (2008年2月)

| 日  | 曜 | 内容   |
|----|---|--|
| 1  | 金 | 板橋区立桜川小学校 校内研修会講師 寺田 “子どもが変わる保護者対応”  |
| 2  | 土 | 板橋区環境なんでも見本市 NPO 法人センスオブアース参加展示～3日   |
| 9  | 土 | 板橋区 子そだて講座 2回目 講師 寺田 “家族ほど愉快なものはない”  |
| 10 | 日 | 全国学校ビオトープ・コンクール「目がかがやいているね、ビオトープ」2007<br>代表校10校の発表・過去に受賞した学校の事後活動報告・記念講演<br>審査委員長 センスオブアース顧問 学芸大学名誉教授 佐島群巳先生 (詳細は3ページ)                   |
| 11 | 月 | SOEと学生とのワークショップ 板橋区立志村第四小6年の環境教育授業準備   |
| 15 | 金 | 志村第四小との授業事前打ち合わせ   |
| 16 | 土 | SOE ニュース発行作業日 2300部発送  |
| 22 | 金 | 板橋区立志村第四小学校6年生「ぼくらの志四小トープをつくろう」出前授業実施<br>学生スタッフ11名 社会人スタッフ3名 計14名参加  |
| 27 | 水 | 板橋区立板橋第七小学校6年 「緑のカーテン学習発表会」講師 寺田<br>5年生全員・板橋第一中学校1年生全員・保護者・板七小見守り隊の方々・スクールガード・板七小寺子屋関係者<br>緑のおじさんおばさん・教職員全員・緑のカーテン応援団・板橋環境行動委員会の方々が授業参加。 |

## ◎ S.O.E. 活動予定 (2008年3月)

|    |   |  |
|----|---|--|
| 9  | 日 | SOE ニュース発行作業日 2300部発送<br>荒川の野鳥を観察しよう 10～12 主催 荒川水資料館くアニア |
| 16 | 日 | エコポリスセンター 取材   |
| 20 | 木 | フードマイレージ環境教育授業 学習会とワークショップ                               |

**学習会のお知らせ** 環境教育に関心のある方、どなたでも、ご参加いただけます。(参加費無料)

### フードマイレージて何? みんなで楽しく勉強できる模擬授業

世界中から食料を買っている国 日本。なんと食料自給率 **38%**しかない。先進国中最下位。おすしのネタを口にするまで、どれくらいエネルギーを消費しているか、計算します。びっくりする数字の数々!! CO2をへらすよい方法は…。模擬授業と、板橋区内の小学生を対象とした実際の授業プログラムづくりを行う学習会です。講師担当はエコポリスセンター。ご参加ご希望の方は、当日に直接会場までお越しください。

**日時 | 3月20日(木・春分の日) 13時から**  
(受付開始12時45分・直接お越しください)

**会場 | いたばしエコポリスセンター3F・実験室**

お問い合わせは下記・センスオブアースまで。

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053  
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp